

貸 借 対 照 表
(2 0 2 4 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

	金 額		金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	38,022	流 動 負 債	21,621
現 金 及 び 預 金	28,094	未 払 金	983
営 業 未 収 入 金	9,928	1 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	16,666
		未 払 法 人 税 等	1,685
		未 払 消 費 税	2,287
固 定 資 産	111,732	固 定 負 債	108,335
有 形 固 定 資 産		長 期 借 入 金	108,335
建 構 物	5,581		
機 械 装 置	89,143	(負 債 合 計)	(129,956)
工 具 器 具 備 品	16,794	(純 資 産 の 部)	
	214	株 主 資 本	60,000
		資 本 金	
		利 益 剰 余 金	△40,202
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△40,202
		繰 越 利 益 剰 余 金	△40,202
		(純 資 産 合 計)	(19,798)
資 産 合 計	149,754	負 債 及 び 純 資 産 合 計	149,754

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
2. 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
該当事項はありません。
4. 収益の計上基準
当社は、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
金額表示………千円を表示しておりますが、千円未満の端数は四捨五入しております。

II. 収益認識に関する注記

当社は、加温設備を保有し、当該設備をもってISOコンテナの加温業務を展開しております。加温作業の開始から終了により履行业務が充足されることから、当該履行业務を充足した時点で収益を認識しております。

III. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 53,361 千円
2. 関係会社に対する金銭債権・債務
関係会社に対する短期金銭債権 9,928 千円
関係会社に対する短期金銭債務 17,592 千円
関係会社に対する長期金銭債務 108,335 千円

IV. 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高
営業取引による取引高
営業売上 40,042 千円
営業原価 11,579 千円
販売費及び一般管理費 4,700 千円
支払利息 1,375 千円

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数
普通株式 600株
2. 当事業年度末における自己株式の数
該当事項はありません。

VI. その他の注記

該当事項はありません。